

## 福岡県子ども療育センター新光園 個別施設計画について

### 【施設の概要】

対象施設	福岡県子ども療育センター新光園		
所管	福祉労働部障がい福祉課		
所在地	福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜4丁目2番1号		
敷地面積 (㎡)	10,288.92	建築面積(㎡)	3,250.96
主構造	RC造	延床面積(㎡)	5,498.45
主要建築物	外来棟、入所棟、連絡棟、親子・講堂棟		

福岡県子ども療育センター新光園は平成25年に竣工しました。

福岡県子ども療育センター新光園は、福岡県立の医療型障がい児入所施設であり、肢体不自由のある子どもを治療するとともに、こどもの成長・発達の問題に対して、診療・訓練・教育・相談などを行います。また、入園診療・外来の他に、障がい児短期入所や日帰りの日中一時支援を行っています。

### 【個別施設計画の策定単位】

福岡県子ども療育センター新光園の個別施設計画については、当該施設を構成する建築物を①外来棟、②入所棟、③連絡棟、④親子・講堂棟の4つに分け、それぞれについて今後の改修等に関する計画を策定しました。



福岡県こども療育センター新光園  
(外来棟)  
個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	3 1
施設所管課	障がい福祉課

令和2年2月

❀福岡県❀

福岡県こども療育センター新光園（外来棟）  
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 施設の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

## 第1章 概要

### (1) 対象施設の概要

対 象 施 設	福岡県こども療育センター新光園		
所 管	福祉労働部障がい福祉課		
整 理 番 号	31	竣工年度	平成 25 年度
所 在 地	福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜 4 丁目 2 番 1 号		
敷 地 面 積 ( m <sup>2</sup> )	10,288.92	建築面積 (m <sup>2</sup> )	3,250.96
主 構 造	R C	延床面積 (m <sup>2</sup> )	5,498.45
主 要 建 築 物	外来棟、入所棟、連絡棟、親子・講堂棟		

### (2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	外来棟			
棟 番 ・ 枝 番	403	—	1	竣工年度 平成 25 年度
建 築 面 積 ( m <sup>2</sup> )	711.78		延床面積 (m <sup>2</sup> )	2,637.82
構 造 ・ 階 数	R C 造 地上 5 階			
各 階 面 積 及 び 用 途				
階別	階床面積 (m <sup>2</sup> )	主 な 用 途 ( 室 名 他 )		
5F	80.11	機械室		
4F	665.63	手術室、レントゲン室、CT 室、透視室、家族待合室、管理職室、医局、当直室		
3F	673.56	機能訓練室、理学・作業・言語聴覚・感覚統合療法室		
2F	672.95	小児科、整形外科、歯科、薬局、検査室、待合、事務室		
1F	545.57	会議室、倉庫、仮眠室、機械室		

福岡県こども療育センター新光園の外来棟は平成 25 年度に竣工しました。

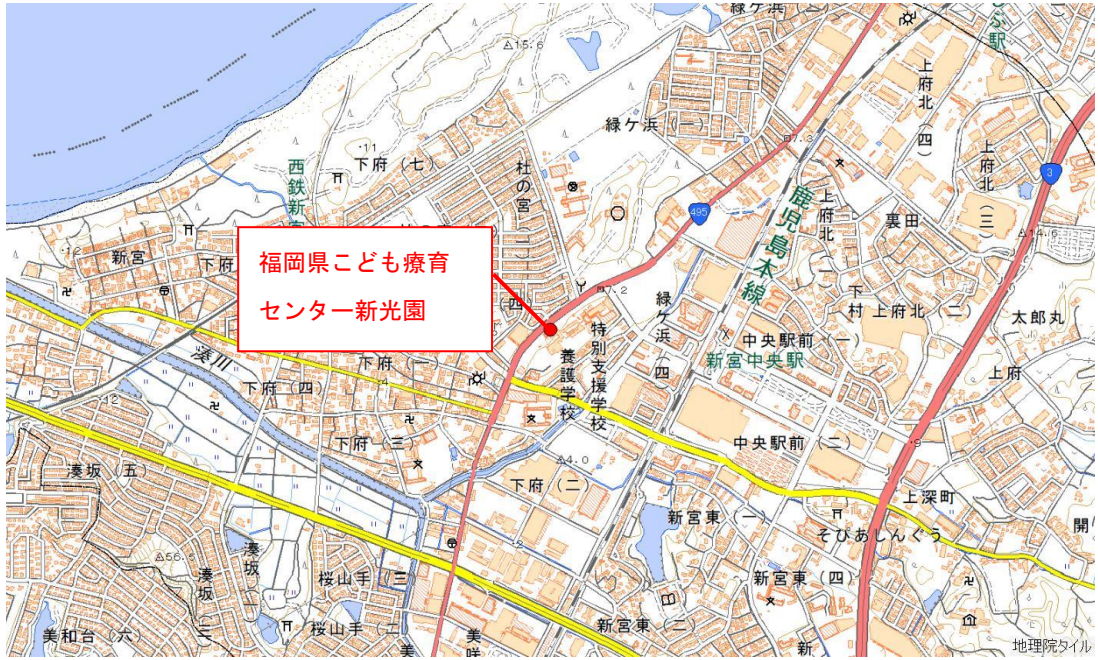
福岡県こども療育センター新光園は、福岡県立の医療型障がい児入所施設であり、肢体不自由のあるこどもを治療するとともに、こどもの成長・発達の問題に対して、診療・訓練・教育・相談などを行います。入園診療・外来診療の他に、障がい児短期入所や日帰りの日中一時支援を行っています。

### (3) 計画期間

計画期間は令和 8 年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景



## 第2章 優先順位の考え方

### (1) 施設間の優先順位

当該施設は、築6年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していません。

### (2) 施設内での優先順位

築6年と新しいため、この計画期間内における改修は行う必要がありません。

### (3) その他

敷地内には外来棟のほか、入所棟、連絡棟、親子・講堂棟があります。

### 第3章 個別施設の状態等

#### (1) 個別施設の状態

屋上部では、塔屋屋上で排水不良による滞留水が見られる他、排水部に土砂の堆積や発錆、保護層や目地の劣化が見られます。外壁や内部の状態は良好です。

#### (2) 施設の現存率（平成30年度施設調査時のデータ）

現存率算定表

施設名称	福岡県子ども療育センター新光園		建物名称	外来棟				
所在地	糟屋郡新宮町緑ヶ浜4丁目2番1号		棟番・枝番	403	-	1	築年数	5年
建築年度	平成25年度	建築面積	711.78 m <sup>2</sup>		現存率	98.0	想定耐用年数	65年
構造・階数	RC 5	延面積	2,637.82 m <sup>2</sup>					
区分	項目及び①評価比率(%)		仕様	経過年数	②各部位の現存率		①×②	
構造	躯体	40	RC	5	100.0		40.00	
	小計							40.00
主要部 仕上げ	屋根・防水	20	アスファルト断熱防水(AI-2)	5	100.0		20.00	
	外壁	20	ポードータイル貼・モザイクタイル貼・薄付け仕上げ塗装	5	100.0		20.00	
	小計							40.00
電気設備	受変電設備	10		5	90.0		9.00	
	小計							9.00
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10		5	90.0		9.00	
	小計							9.00
合計							98.00	

この結果、福岡県子ども療育センター新光園の外来棟の現存率は、「98.0」となります。



○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	R C	100.0	耐震診断による Is 値 <sup>1</sup>	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	アスファルト断熱防水(A1-2)	100.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
			防水層の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
			経年（新設もしくは改修後）	経年 10 年未満
外壁	ボーダータイル貼 モザイクタイル貼 薄付け仕上げ塗装	100.0	外壁のはく落、浮き、ひび割れ等の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
			漏水の発生・痕跡の有無	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
内壁	磁器質タイル GB コンクリート打放	100.0	劣化	特に問題なし
天井	コンクリート打放 GB	100.0		
床	磁器タイル ビニールシート	100.0		
建具	アルミサッシ 木製 シャッター	100.0	劣化	特に問題なし
			開閉作動・取付け状態	特に問題なし
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	90.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年以上
受変電設備	あり	90.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年以上

<sup>1</sup> Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
自家発電設備	自家発電設備	90.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年5年以上
動力設備	—	00.0	経年（新設後更新後）	—
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明・ 火災報知設備	90.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年5年以上
その他設備	インターホン TV共同受信 防犯設備等 表示設備	80.0	経年（新設後更新後）	経年5年以上
空気調和・換 気・排煙設備	空気調和設備 換気設備 排煙設備	90.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年5年以上
給排水・衛 生・給湯設備	給排水設備 衛生設備 給湯設備	90.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年5年以上
消火設備	消火設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年10年未満
エレベーター 設備	エレベーター設 備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年10年未満

(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
2013	6	新	—	—	—	—	65年

築6年と新しいため、福岡県子ども療育センター新光園の外来棟の目標耐用年数を原則どおり65年（残年数を59年）と設定します。

## 第4章 対策の内容等

### (1) 改修・更新について

築6年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は59年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

計画期間内に改修費用が発生する予定はありません。

### (2) 対策の平準化について

この計画期間内に改修を行う必要はありません。

### (3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

(百万円)				
区分	項目	実施時期		
		令和1～3年度	令和4～6年度	令和7～8年度
主要部仕上げ	屋根・防水、内 壁、天井、建具	0	0	0
電気設備	電灯・電話設備、 自家発電設備、動 力設備、非常用照 明・火災報知設 備、その他の設備	0	0	0
機械設備	給排水・給湯・ガ ス設備、空気調 和・排煙設備、消 火設備、エレベ ーター	0	0	0
その他	外構	0	0	0
	計	0	0	0

※上記は実際の予算や事業費等とは異なります。

福岡県こども療育センター新光園  
(入所棟)  
個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	3 1
施設所管課	障がい福祉課

令和2年2月

❀福岡県❀

福岡県こども療育センター新光園（入所棟）  
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 施設の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

## 第1章 概要

### (1) 対象施設の概要

対 象 施 設	福岡県こども療育センター新光園		
所 管	福祉労働部障がい福祉課		
整 理 番 号	31	竣工年度	平成 25 年度
所 在 地	福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜 4 丁目 2 番 1 号		
敷 地 面 積 ( m <sup>2</sup> )	10,288.92	建築面積 (m <sup>2</sup> )	3,250.96
主 構 造	R C	延床面積 (m <sup>2</sup> )	5,498.45
主 要 建 築 物	外来棟、入所棟、連絡棟、親子・講堂棟		

### (2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	入所棟				
棟 番 ・ 枝 番	403	—	2	竣工年度	平成 27 年度
建 築 面 積 ( m <sup>2</sup> )	1,288.06		延床面積 (m <sup>2</sup> )	1,466.00	
構 造 ・ 階 数	R C 造 地上 3 階				
各 階 面 積 及 び 用 途					
階別	階床面積 (m <sup>2</sup> )	主 な 用 途 ( 室 名 他 )			
3F	18.00	屋上機械室(一般系統用)			
2F	1130.92	病室、食堂、浴室、ナースステーション			
1F	317.08	ピロティ駐車場、警備員室			

福岡県こども療育センター新光園の入所棟は平成 27 年度に竣工しました。

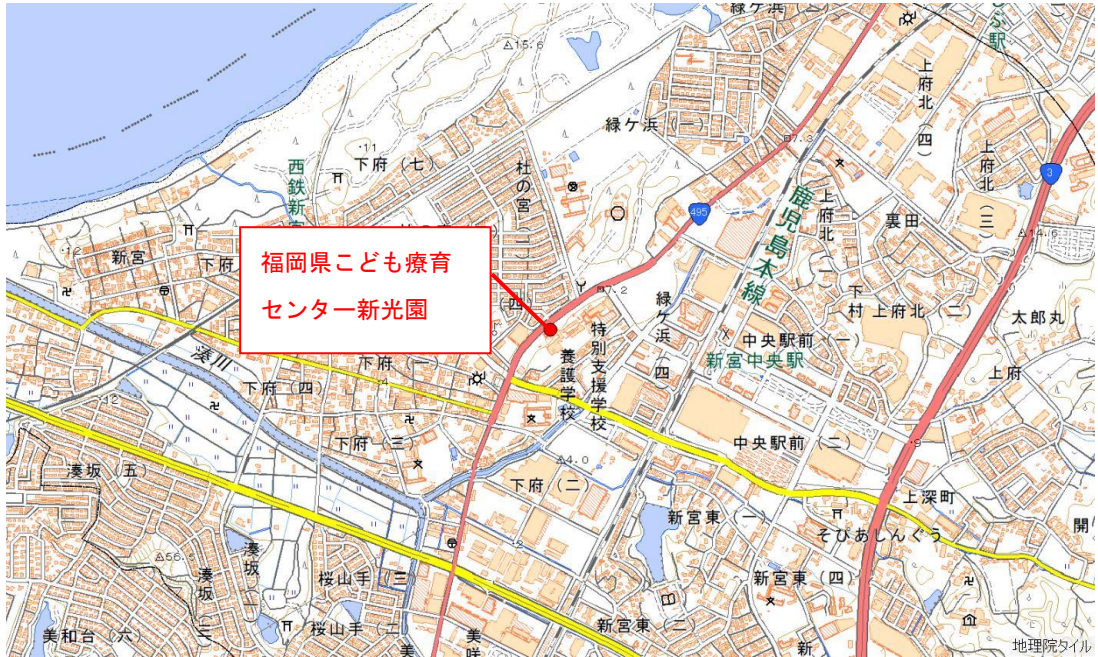
福岡県こども療育センター新光園は、福岡県立の医療型障がい児入所施設であり、肢体不自由のあるこどもを治療するとともに、こどもの成長・発達の問題に対して、診療・訓練・教育・相談などを行います。入園診療・外来診療の他に、障がい児短期入所や日帰りの日中一時支援を行っています。

### (3) 計画期間

計画期間は令和 8 年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景





## 第2章 優先順位の考え方

### (1) 施設間の優先順位

当該施設は、築4年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していません。

### (2) 施設内での優先順位

築4年と新しいため、この計画期間内における改修は行う必要がありません。

### (3) その他

敷地内には入所棟のほか、外来棟、連絡棟、親子・講堂棟があります。

### 第3章 個別施設の状態等

#### (1) 個別施設の状態

屋上部では排水不良や貯水槽の水漏れ・発錆などが見られます。外壁や内部においては大きな問題は見られません。

#### (2) 施設の現存率（平成30年度施設調査時のデータ）

**現存率算定表**

施設名称	福岡県子ども療育センター新光園		建物名称	入所棟				
所在地	糟屋郡新宮町緑ヶ浜4丁目2番1号		棟番・枝番	403	-	2	築年数	3年
建築年度	平成27年度	建築面積	1,288.06 m <sup>2</sup>	現存率	100.0	想定耐用年数	65年	
構造・階数	RC 3	延面積	1,466.00 m <sup>2</sup>					
区分	項目及び①評価比率(%)		仕様	経過年数	②各部位の現存率	①×②		
構造	躯体	40	RC	3	100.0	40.00		
	小計						40.00	
主要部 仕上げ	屋根・防水	20	アスファルト断熱防水(AI-2)	3	100.0	20.00		
	外壁	20	薄付け仕上げ塗装	3	100.0	20.00		
	小計						40.00	
電気設備	受変電設備	10		3	100.0	10.00		
	小計						10.00	
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10		3	100.0	10.00		
	小計						10.00	
合計						100.00		

この結果、福岡県子ども療育センター新光園の入所棟の現存率は、「100.0」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	R C	100.0	耐震診断による Is 値 <sup>2</sup>	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	アスファルト断熱防水(A1-2)	100.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
			防水層の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
			経年（新設もしくは改修後）	経年 10 年未満
外壁	薄付け仕上げ塗装	100.0	外壁のはく落、浮き、ひび割れ等の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
			漏水の発生・痕跡の有無	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
内壁	磁器質タイル GB コンクリート打放	100.0	劣化	特に問題なし
天井	コンクリート打放 GB	100.0		
床	磁器タイル ビニールシート 畳	100.0		
建具	アルミサッシ 木製 シャッター	100.0	劣化	特に問題なし
			開閉作動・取付け状態	特に問題なし
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
受変電設備	あり	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満

<sup>2</sup> Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
自家発電設備	自家発電設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
動力設備	—	00.0	経年（新設後更新後）	—
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明・ 火災報知設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
その他設備	インターホン TV 共同受信 防犯設備等 表示設備	100.0	経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
空気調和・換 気・排煙設備	空気調和設備 換気設備 排煙設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
給排水・衛 生・給湯設備	給排水設備 衛生設備 給湯設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
消火設備	消化設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 10 年未満
エレベーター 設備	エレベーター設 備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 10 年未満

(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
2015	4	新	—	—	—	—	65年

築4年と新しいため、福岡県子ども療育センター新光園の入所棟の目標耐用年数を原則どおり65年（残年数を61年）と設定します。

## 第4章 対策の内容等

### (1) 改修・更新について

築4年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は61年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

計画期間内に改修費用が発生する予定はありません。

### (2) 対策の平準化について

この計画期間内に改修を行う必要はありません。

### (3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

(百万円)				
区分	項目	実施時期		
		令和1～3年度	令和4～6年度	令和7～8年度
主要部仕上げ	屋根・防水、内 壁、天井、建具	0	0	0
電気設備	電灯・電話設備、 自家発電設備、動 力設備、非常用照 明・火災報知設 備、その他の設備	0	0	0
機械設備	給排水・給湯・ガ ス設備、空気調 和・排煙設備、消 火設備、エレベ ーター	0	0	0
その他	外構	0	0	0
	計	0	0	0

※上記は実際の予算や事業費等とは異なります。

福岡県こども療育センター新光園  
(連絡棟)  
個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	3 1
施設所管課	障がい福祉課

令和2年2月

✿福岡県✿

福岡県こども療育センター新光園（連絡棟）  
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 施設の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	



## 第1章 概要

### (1) 対象施設の概要

対 象 施 設	福岡県こども療育センター新光園		
所 管	福祉労働部障がい福祉課		
整 理 番 号	31	竣工年度	平成 25 年度
所 在 地	福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜 4 丁目 2 番 1 号		
敷 地 面 積 ( m <sup>2</sup> )	10,288.92	建築面積 (m <sup>2</sup> )	3,250.96
主 構 造	R C	延床面積 (m <sup>2</sup> )	5,498.45
主 要 建 築 物	外来棟、入所棟、連絡棟、親子・講堂棟		

### (2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	連絡棟				
棟 番 ・ 枝 番	403	—	3	竣工年度	平成 27 年度
建 築 面 積 ( m <sup>2</sup> )	337.24		延床面積 (m <sup>2</sup> )	507.26	
構 造 ・ 階 数	R C 造 地上 3 階				
各 階 面 積 及 び 用 途					
階別	階床面積 (m <sup>2</sup> )	主 な 用 途 ( 室 名 他 )			
3F	29.64	屋上機械室(厨房用)			
2F	169.98	屋外訓練場、相談室			
1F	307.64	外来保育室、厨房			

福岡県こども療育センター新光園の連絡棟は平成 27 年度に竣工しました。

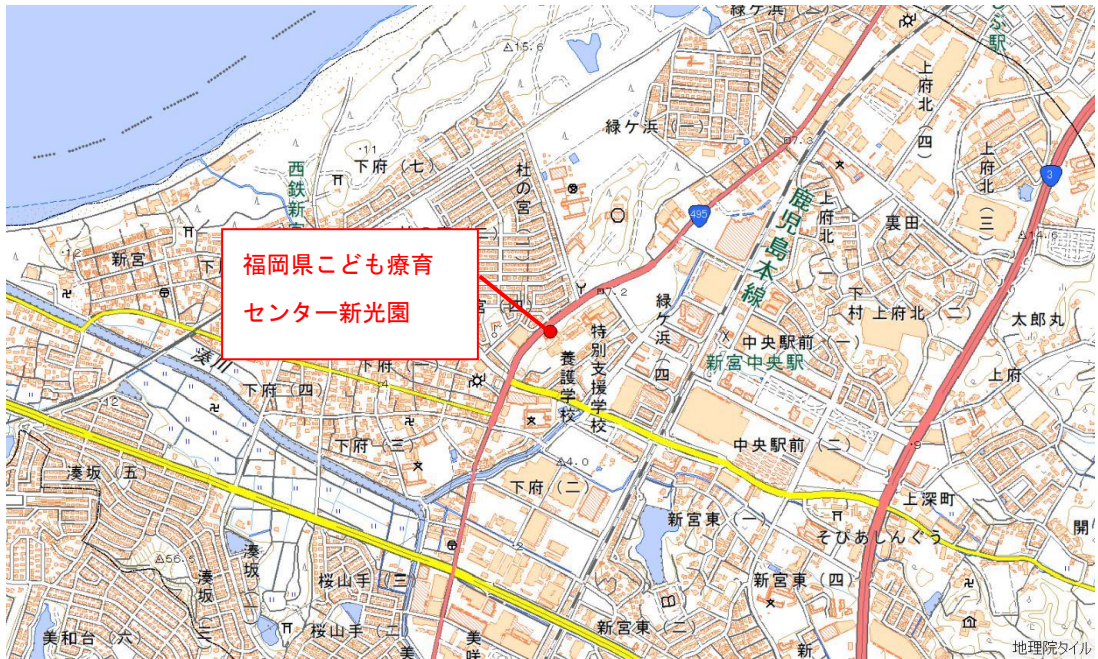
福岡県こども療育センター新光園は、福岡県立の医療型障がい児入所施設であり、肢体不自由のあるこどもを治療するとともに、こどもの成長・発達の問題に対して、診療・訓練・教育・相談などを行います。入園診療・外来診療の他に、障がい児短期入所や日帰りの日中一時支援を行っています。

### (3) 計画期間

計画期間は令和 8 年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景



## 第2章 優先順位の考え方

### (1) 施設間の優先順位

当該施設は、築4年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していません。

### (2) 施設内での優先順位

築4年と新しいため、この計画期間内における改修は行う必要がありません。

### (3) その他

敷地内には連絡棟のほか、入所棟、外来棟、親子・講堂棟があります。

### 第3章 個別施設の状態等

#### (1) 個別施設の状態

建物に大きな問題はなく、状態は良好です。

#### (2) 施設の現存率（平成30年度施設調査時のデータ）

**現存率算定表**

施設名称	福岡県子ども療育センター新光園		建物名称	連絡棟				
所在地	糟屋郡新宮町緑ヶ浜4丁目2番1号		棟番・枝番	403	-	3	築年数	3年
建築年度	平成27年度	建築面積	337.24 m <sup>2</sup>	現存率	100.0	想定耐用年数	65年	
構造・階数	RC 3	延面積	507.26 m <sup>2</sup>					
区分	項目及び①評価比率(%)		仕様	経過年数	②各部位の現存率	①×②		
構造	躯体	40	RC	3	100.0	40.00		
	小計						40.00	
主要部 仕上げ	屋根・防水	20	アスファルト断熱防水(AI-2)	3	100.0	20.00		
	外壁	20	薄付け仕上塗装	3	100.0	20.00		
	小計						40.00	
電気設備	受変電設備	10		3	100.0	10.00		
	小計						10.00	
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10		3	100.0	10.00		
	小計						10.00	
合計						100.00		

この結果、福岡県子ども療育センター新光園の連絡棟の現存率は、「100.0」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	R C	100.0	耐震診断による Is 値 <sup>3</sup>	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	アスファルト断熱防水(A1-2)	100.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
			防水層の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
			経年（新設もしくは改修後）	経年 10 年未満
外壁	薄付け仕上げ塗装	100.0	外壁のはく落、浮き、ひび割れ等の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
			漏水の発生・痕跡の有無	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
内壁	磁器質タイル GB コンクリート打放	100.0	劣化	特に問題なし
天井	コンクリート打放 GB	100.0		
床	磁器タイル ビニールシート 畳	100.0		
建具	アルミサッシ 木製 シャッター	100.0	劣化	特に問題なし
			開閉作動・取付け状態	特に問題なし
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
受変電設備	あり	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし

<sup>3</sup> Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
自家発電設備	自家発電設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
動力設備	—	00.0	経年（新設後更新後）	—
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明・ 火災報知設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
その他設備	インターホン TV 共同受信 防犯設備等 表示設備	100.0	経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
空気調和・換 気・排煙設備	空気調和設備 換気設備 排煙設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
給排水・衛 生・給湯設備	給排水設備 衛生設備 給湯設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
消火設備	消火設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 10 年未満
エレベーター 設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—

(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
2015	4	新	—	—	—	—	65 年

築4年と新しいため、福岡県こども療育センター新光園の連絡棟の目標耐用年数を原則どおり65年（残年数を61年）と設定します。

## 第4章 対策の内容等

### (1) 改修・更新について

築4年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は61年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

計画期間内に改修費用が発生する予定はありません。

### (2) 対策の平準化について

この計画期間内に改修を行う必要はありません。

### (3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

(百万円)				
区分	項目	実施時期		
		令和1～3年度	令和4～6年度	令和7～8年度
主要部仕上げ	屋根・防水、内 壁、天井、建具	0	0	0
電気設備	電灯・電話設備、 自家発電設備、動 力設備、非常用照 明・火災報知設 備、その他の設備	0	0	0
機械設備	給排水・給湯・ガ ス設備、空気調 和・排煙設備、消 火設備、エレベ ーター	0	0	0
その他	外構	0	0	0
	計	0	0	0

※上記は実際の予算や事業費等とは異なります。



福岡県こども療育センター新光園  
(親子・講堂棟)  
個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	3 1
施設所管課	障がい福祉課

令和2年2月

❀福岡県❀

福岡県こども療育センター新光園（親子・講堂棟）  
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 施設の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

## 第1章 概要

### (1) 対象施設の概要

対 象 施 設	福岡県こども療育センター新光園		
所 管	福祉労働部障がい福祉課		
整 理 番 号	31	竣工年度	平成 25 年度
所 在 地	福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜 4 丁目 2 番 1 号		
敷 地 面 積 ( m <sup>2</sup> )	10,288.92	建築面積 (m <sup>2</sup> )	3,250.96
主 構 造	R C	延床面積 (m <sup>2</sup> )	5,498.45
主 要 建 築 物	外来棟、入所棟、連絡棟、親子・講堂棟		

### (2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	親子・講堂棟				
棟 番 ・ 枝 番	403	—	4	竣工年度	平成 29 年度
建 築 面 積 ( m <sup>2</sup> )	913.88		延床面積 (m <sup>2</sup> )	887.37	
構 造 ・ 階 数	R C 造 地上 1 階				
各 階 面 積 及 び 用 途					
階別	階床面積 (m <sup>2</sup> )	主 な 用 途 ( 室 名 他 )			
1F	887.37	親子室、食堂、講堂、リネン庫、寝具庫、スタッフルーム			

福岡県こども療育センター新光園の親子・講堂棟は平成 29 年度に竣工しました。

福岡県こども療育センター新光園は、福岡県立の医療型障がい児入所施設であり、肢体不自由のあるこどもを治療するとともに、こどもの成長・発達の問題に対して、診療・訓練・教育・相談などを行います。入園診療・外来診療の他に、障がい児短期入所や日帰りの日中一時支援を行っています。

### (3) 計画期間

計画期間は令和 8 年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景



## 第2章 優先順位の考え方

### (1) 施設間の優先順位

当該施設は、築2年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していません。

### (2) 施設内での優先順位

新築であるため、この計画期間内における改修は行う必要がありません。

### (3) その他

敷地内には親子・講堂棟のほか、連絡棟、入所棟、外来棟があります。

### 第3章 個別施設の状態等

#### (1) 個別施設の状態

良好な状態です。

#### (2) 施設の現存率（平成30年度施設調査時のデータ）

**現存率算定表**

施設名称	福岡県こども療育センター新光園		建物名称	親子・講堂棟				
所在地	糟屋郡新宮町緑ヶ浜4丁目2番1号		棟番・枝番	403	-	4	築年数	1年
建築年度	平成29年度	建築面積	913.88 m <sup>2</sup>		現存率	100.0	想定耐用年数	65年
構造・階数	RC 1	延面積	887.37 m <sup>2</sup>					
区分	項目及び①評価比率(%)		仕様	経過年数	②各部位の現存率		①×②	
構造	躯体	40	RC	1	100.0		40.00	
	小計							40.00
主要部仕上げ	屋根・防水	20	アスファルト断熱防水(AI-2)	1	100.0		20.00	
	外壁	20	薄付け仕上げ塗装	1	100.0		20.00	
	小計							40.00
電気設備	受変電設備	10		1	100.0		10.00	
	小計							10.00
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10		1	100.0		10.00	
	小計							10.00
合計							100.00	

この結果、福岡県こども療育センター新光園の親子・講堂棟の現存率は、「100.0」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	R C	100.0	耐震診断による Is 値 <sup>4</sup>	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	アスファルト断熱防水(A1-2)	100.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
			防水層の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
			経年（新設もしくは改修後）	経年 10 年未満
外壁	薄付け仕上げ塗装	100.0	外壁のはく落、浮き、ひび割れ等の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
			漏水の発生・痕跡の有無	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改修 10 年未満
内壁	磁器質タイル GB コンクリート打放	100.0	劣化	特に問題なし
天井	コンクリート打放 GB	100.0		
床	鋼製床組 ビニールシート	100.0		
建具	アルミサッシ 木製 シャッター	100.0	劣化	特に問題なし
			開閉作動・取付け状態	特に問題なし
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
受変電設備	あり	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
自家発電設備	自家発電設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満

<sup>4</sup> Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
動力設備	—	00.0	経年（新設後更新後）	—
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明・ 火災報知設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
その他設備	インターホン TV 共同受信 防犯設備等 表示設備	100.0	経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
空気調和・換 気・排煙設備	空気調和設備 換気設備 排煙設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
給排水・衛 生・給湯設備	給排水設備 衛生設備 給湯設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
消火設備	消火設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 10 年未満
エレベーター 設備	—	00.0	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—



(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
2017	2	新	—	—	—	—	65 年

新築であるため、福岡県こども療育センター新光園の親子・講堂棟の目標耐用年数を原則どおり 65 年（残年数を 63 年）と設定します。

## 第4章 対策の内容等

### (1) 改修・更新について

築2年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は63年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

計画期間内に改修費用が発生する予定はありません。

### (2) 対策の平準化について

この計画期間内に改修を行う必要はありません。

### (3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

(百万円)				
区分	項目	実施時期		
		令和1～3年度	令和4～6年度	令和7～8年度
主要部仕上げ	屋根・防水、内 壁、天井、建具	0	0	0
電気設備	電灯・電話設備、 自家発電設備、動 力設備、非常用照 明・火災報知設 備、その他の設備	0	0	0
機械設備	給排水・給湯・ガ ス設備、空気調 和・排煙設備、消 火設備、エレベ ーター	0	0	0
その他	外構	0	0	0
	計	0	0	0

※上記は実際の予算や事業費等とは異なります。